

恵那の農畜産物のブランド展開

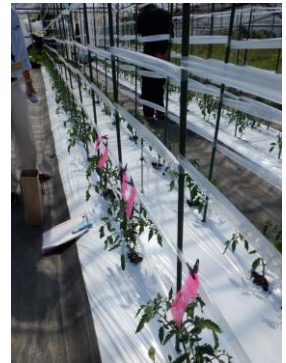
■夏秋トマト・東美濃夏秋トマト生産協議会 夏秋トマトの施肥設計支援システム構築に向けて

恵那農林事務所では、「みどりの食料システム戦略」に基づき、環境負荷（化学肥料窒素）の軽減等による持続可能な農業を推進している。

これを踏まえた適正な施肥に向けては、これまで考慮されてこなかった土壌から供給される窒素を数値化した上で、必要量の施肥を行う必要がある。

そこで、2年前から農業普及課では県農業技術センターと協力して生産者毎の適正な施肥量を把握するため、「施肥設計支援システム」の構築に取り組んでいる。基礎データ集積のため本年度は5月から生育調査を開始した。

今後も農業普及課では、県農業技術センター、東美濃夏秋トマト生産協議会、現地関係機関の協力の下、システムの早期構築と環境負荷軽減技術の実践に向けて支援していく。



【調査ほ場の様子】

(園芸産地支援第一係 小野昭憲)